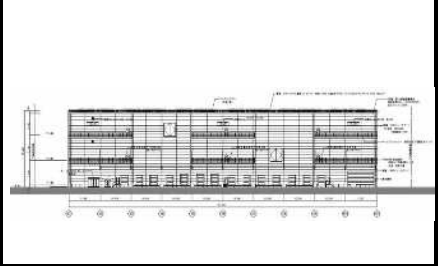


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	厚木市上依知再開発	階数	地上4F
建設地	厚木市上依知字上ノ原3007番7	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条区域	平均居住人員	150人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年8月 0.0	評価の実施日	2021年12月1日
敷地面積	17,413㎡	作成者	鈴与建設㈱一級建築士事務所
建築面積	7,635㎡	確認日	2021年12月20日
延床面積	22,839㎡	確認者	鈴与建設㈱一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	圏央道相模原愛川IC付近 内陸工業団地内に、事務所、工場の複合用途の建築物をS造・4階にて計画しました。冷蔵冷蔵倉庫として使用します。	その他
Q1 室内環境	執務室の照度確保、建築及び設備から発生する化学汚染物質を最小としました。空気取り入れ口(給気口、排気口の距離)にも配慮しました。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	BPI _m =0.61、BEI _m =0.71LED照明設備を導入している	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	自由度の高い設備、空間のプランニング空間を計画し、節水器具も採用しました。	その他
LR2 資源・マテリアル	躯体材料以外におけるリサイクル材を使用し、壁・天井共パネル材やLGS下地の採用等で部材の再利用向上への取組としました。	その他

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される